

彦根市の景観に関する市民意識調査

概要報告書

令和5年 6月

彦根市

◆◆ 目次 ◆◆

1. 彦根市の景観に関する市民意識調査の概要	1
(1)調査の目的.....	1
(2)対象地域及び対象者	1
(3)調査方法.....	1
(4)調査期間.....	1
(5)回収状況.....	1
(6)調査項目	1
(7)調査結果の見方	2
2. 彦根市の景観に関する市民意識調査結果	3
(1)回答者の属性について	3
①性別 〈問 1〉.....	3
②年齢 〈問 2〉.....	3
③居住地域 〈問 3〉	4
④居住年数 〈問 4〉	4
⑤景観への関心度 〈問 5〉	5
⑥景観計画の認知度 〈問 6〉.....	5
(2)彦根市内やお住いの地域の景観について	6
①彦根市「全体」の景観について 〈問 7〉.....	6
②彦根市の景観の変化 〈問 8〉.....	6
③彦根市の大切にしたい景観 〈問 9〉.....	7
④好ましくない景観 〈問 10〉.....	8
⑤良好な景観 〈問 11〉.....	9
(3)景観まちづくり活動について	10
①景観のために実施している、してみたい取組み 〈問 12〉	10
②景観形成を進めるための有効な情報 〈問 13〉.....	11
(4)彦根城および周辺地域の景観について	12
①彦根城の世界遺産登録の範囲についての認知度 〈問 14〉	12
②彦根城周辺地域で進めるべき取組み 〈問 15〉.....	13
③彦根城を望める良好な景観場所 〈問 16〉	14
3. 市民意識調査票	16

1. 彦根市の景観に関する市民意識調査の概要

(1) 調査の目的

「彦根市景観計画(平成 19 年6月)」の策定から 15 年が経過し、景観面に関わる社会環境の変化等も見られ、見直しの時期にきていることから、市民の皆様に景観に関して日頃から感じておられることを把握し、計画の改定に際しての基礎資料とすることを目的にアンケートを実施しました。

(2) 対象地域及び対象者

彦根市の住民基本台帳に登録されている、市内にお住まいの 18 歳以上の方から、無作為に 2,000 人を抽出しました。

(3) 調査方法

2,000 人に調査票を郵送し、以下の二通りから選択できる方法をとっています。

- ・届いた調査票に直接回答を記入し、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、郵便ポストに投函する、紙面アンケート。
- ・届いた調査票に記載の二次元コード・URLから、パソコン・スマートフォンで回答する、WEB アンケート。

(4) 調査期間

令和 4 年 10 月 31 日(月)から 11 月 14 日(月)まで

(5) 回収状況

回収数 520 票

回収率 26.0%

(6) 調査項目

- 1.回答者の属性(性別、年齢、居住地域、居住年数、景観への関心度、景観計画の認知度)
- 2.彦根市内やお住いの地域の景観について
- 3.景観まちづくり活動について
- 4.彦根城および周辺地域の景観について
- 5.自由記述

(7)調査結果の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・基礎となる実数はnとして掲載し、各グラフの比率はnを母数とした割合を示しています。
- ・複数回答する設問では、その比率の合計が100%を上回ることがあります。
- ・自由回答については、主なキーワードを抽出し、キーワード別に集計しています。なお、1つの意見に複数のキーワードが含まれる場合は、すべてカウントして集計しています。

(8)調査主体

彦根市

（令和4年度）歴史まちづくり部 景観まちなみ課

（令和5年度）都市政策部 建築指導課 景観まちなみ室

2. 彦根市の景観に関する市民意識調査結果

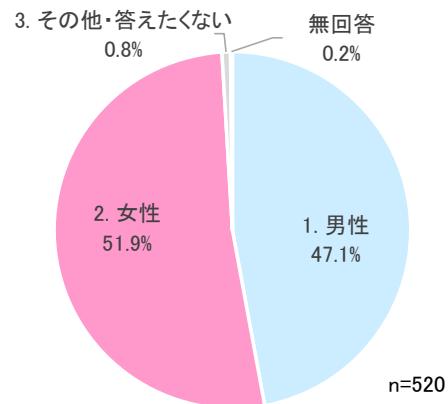
(1)回答者の属性について

①性別 〈問1〉

問1 あなたの性別をお答えください。(1つ選択)

・性別は、「女性」「男性」とも約5割です。

- 性別は、「女性(51.9%)」が「男性(47.1%)」よりもやや多くなっているものの、ほぼ同数となっています。

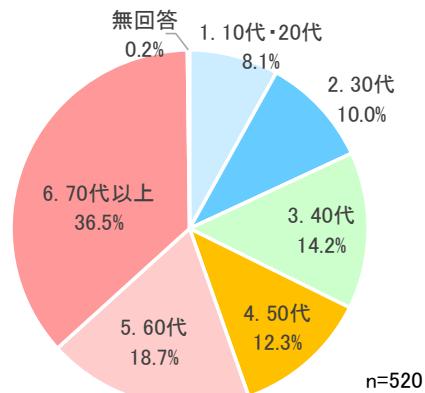


②年齢 〈問2〉

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つ選択)

・年齢は、「70代以上」が約4割で最も多く、「60代」の約2割と合計すると約6割で回答者の過半数を占めています。

- 年齢は、「70代以上(36.5%)」が最も多く、次いで「60代(18.7%)」、「40代(14.2%)」となっています。
- 「60代(18.7%)」と「70代以上(36.5%)」を合計すると55.2%で、回答者の過半数を占めています。

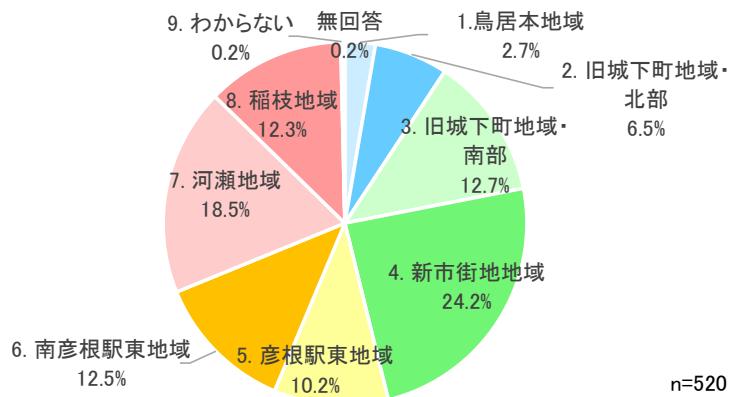


③居住地域 〈問3〉

問3	あなたのお住まいについて、以下の地域からあてはまるところをお答えください。 (1つ選択)
----	---

- ・居住地域は、「新市街地地域」が約2割で最も多くなっています。

・居住地域は、「新市街地地域(24.2%)」が最も多く、次いで、「河瀬地域(18.5%)」、「旧城下町地域・南部(12.7%)」、「南彦根駅東地域(12.5%)」、「稻枝地域(12.3%)」となっています。

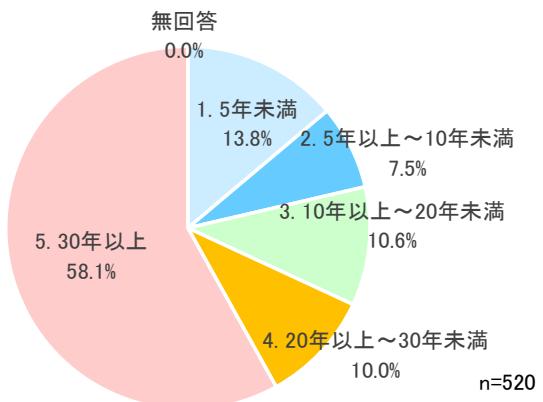


④居住年数 〈問4〉

問4	あなたは、どれくらい彦根市に住んでおられるかお答えください。(1つ選択)
----	--------------------------------------

- ・居住年数は、「30年以上」が約6割と最も多く、過半数を占めています。

・居住年数は、「30年以上(58.1%)」が最も多く、過半数を占めています。
・次いで、「5年未満(13.8%)」、「10年以上～20年未満(10.6%)」、「20年以上～30年未満(10.0%)」となっています。

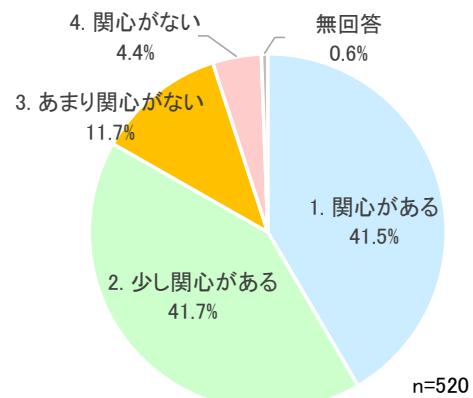


⑤景観への関心度 〈問5〉

問5 あなたは、景観に関心がありますか。(1つ選択)

・全体で約8割が景観に関心を持っています。

- ・景観への関心度は、「少し関心がある(41.7%)」が最も多く、次いで、「関心がある(41.5%)」となっています。
- ・「関心がある(41.5%)」と「少し関心がある(41.7%)」を合計すると、83.2%と約8割の方が景観に関心をもっています。

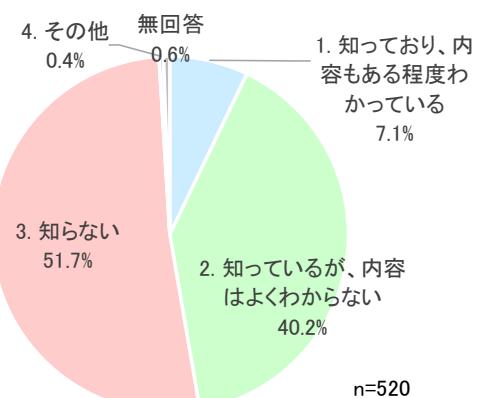


⑥景観計画の認知度 〈問6〉

問6 あなたは、彦根市が景観計画を策定していることを知っていますか。(1つ選択)

・全体で約5割が景観計画を「知らない」と回答しており、認知度が低くなっています。

- ・景観計画の認知度は、「知らない(51.7%)」が最も多く、過半数を占めています。
- ・次いで、「知っているが、内容はよくわからない(40.2%)」が約4割となっています。



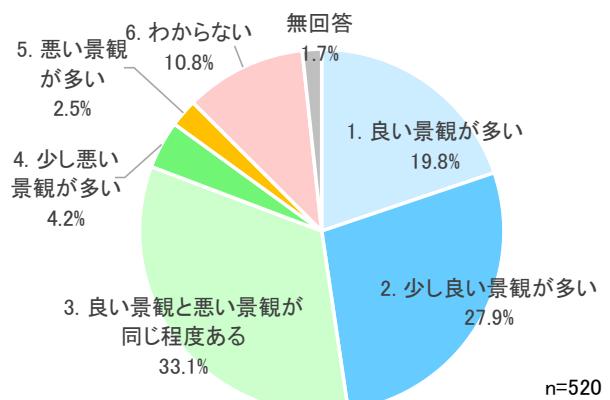
(2)彦根市内やお住いの地域の景観について

①彦根市「全体」の景観について 〈問7〉

問7 あなたは彦根市「全体」の景観について、どのように感じますか。(1つ選択)

・全体で約5割が良い景観が多いと感じています。

- ・彦根市の景観については、「良い景観と悪い景観が同じ程度ある(33.1%)」が最も多く、次いで、「少し良い景観が多い(27.9%)」、「良い景観が多い(19.8%)」となっています。
- ・「良い景観が多い(19.8%)」と「少し良い景観が多い(27.9%)」を合計すると、47.7%と約5割となっています。

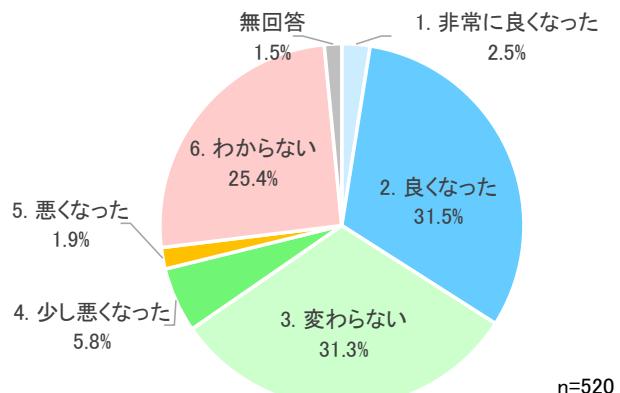


②彦根市の景観の変化 〈問8〉

問8 彦根市の景観は、以前(10年前)と比べてどのように変化したと思いますか。(1つ選択)

・「良くなった」「変わらない」「わからない」がともに約3割となっています。

- ・彦根市の景観の変化は、「良くなった(31.5%)」が最も多く、次いで、「変わらない(31.3%)」、「わからない(25.4%)」となっています。
- ・「非常に良くなった(2.5%)」と「良くなった(31.5%)」を合計すると、34.0%と約3割となっています。

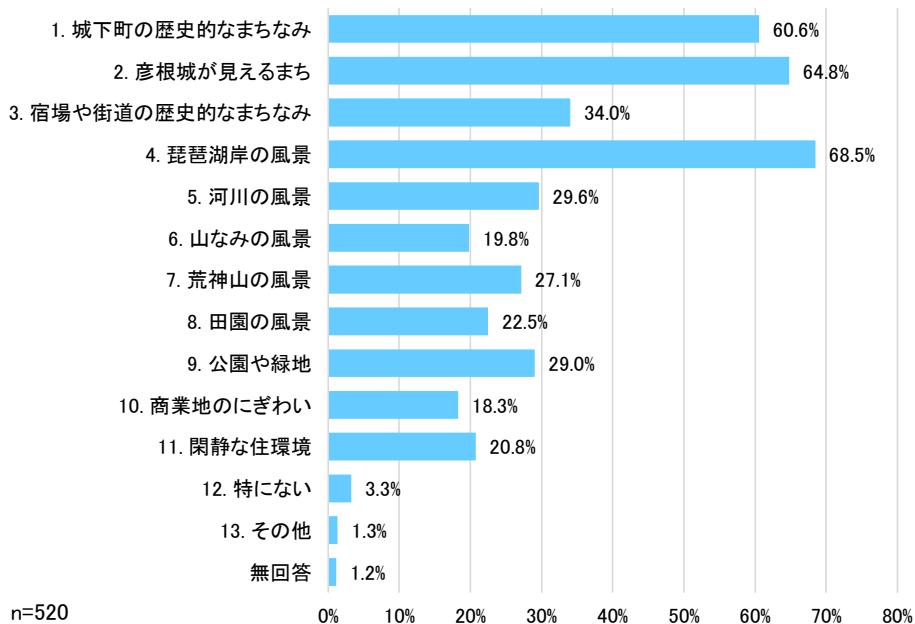


③彦根市の大切にしたい景観 〈問9〉

問9 あなたにとって彦根市内の大切にしたい景観とは何ですか。(複数回答)

・「琵琶湖岸の風景」、「彦根城が見えるまち」、「城下町の歴史的なまちなみ」が市民にとって大切にしたい景観となっています。

- ・彦根市の大切にしたい景観は、「琵琶湖岸の風景(68.5%)」が最も多く、次いで「彦根城が見えるまち(64.8%)」、「城下町の歴史的なまちなみ(60.6%)」となっています。
- ・その他の意見では、「佐和山城跡」や「城下町の観光的なまちなみ」「琵琶湖湖岸の風景」などの、具体的な意見が挙げられています。



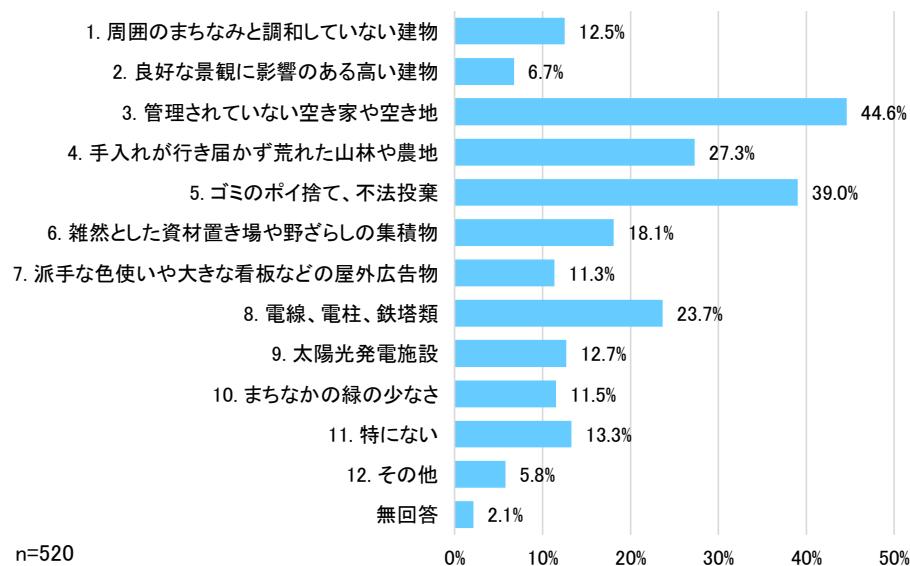
n=520

④好ましくない景観 〈問10〉

問10 あなたが住んでおられる地域の景観について、景観上好ましくないと感じるものはありますか。(複数回答)

- ・好ましくない景観は、「管理されていない空き家や空き地」が約4割で最も多くなっています。

- ・好ましくない景観は、「管理されていない空き家や空き地(44.6%)」が最も多く、次いで「ゴミのポイ捨て、不法投棄(39.0%)」、「手入れが行き届かず荒れた山林や農地(27.3%)」、「電線、電柱、鉄塔類(23.7%)」となっています。
- ・その他の意見では、「景観に統一感がない」、「倒れそうな木がある」、「道路沿いの雑然とした看板」などの、具体的な意見が挙げられています。



n=520

⑤良好な景観〈問11〉

問11	彦根市内やお住いの地域で、将来に残すべき良好な景観があれば、名称や場所、特徴や理由をご記入ください。(自由回答)
-----	--

- ・良好な景観については、彦根城周辺に関する意見が57件で最も多く、次いで、自然・緑・樹木が56件、河川が54件、建物・まちなみが49件と続いています。
- ・居住地域別で具体的に場所が特定できるものとしては、彦根城や琵琶湖畔以外で、鳥居本地域では鳥居本宿、河瀬地域と稲枝地域では荒神山、その他の地域では芹川けやきみちが良好な景観として挙げられています。

良好な景観の主な意見(キーワード別集計)

キーワード	件数
彦根城周辺(彦根城周辺の景観、城下町、お堀など)	57件
自然・緑・樹木の保存・管理(桜並木、まちなみで自然を感じられるくすのき通りの樹木、自然のままの河川や緑地など)	56件
河川(芹川、宇曽川、犬上川、愛知川など)	54件
建物・まちなみ(古いまちなみ、銀座商店街、宿場町など)	49件
琵琶湖(松原湖岸から見る夕日、湖岸の景観など)	31件
公園・広場(荒神山公園、庄堀公園、外馬場公園など)	31件
荒神山・佐和山等(山頂から眺める景観、緑の景観、自然の家など)	27件
眺望(雨壺山から望める景色、湖岸からの眺望、琵琶湖からの高島など)	22件

良好な景観の居住地域別集計(具体的に場所が特定できるもの)

居住地域	良好な景観
鳥居本地域	彦根城(お堀)【2件】、鳥居本宿【2件】、琵琶湖畔【1件】、湖岸道路・さざなみ街道【1件】、中山道高宮宿【1件】
旧城下町地域・北部	彦根城(お堀)【7件】、芹川けやきみち(芹川)【3件】、松原浜(松原水泳場)【3件】、松原湖岸道路(ミシガン通り)【2件】、佐和山城跡(登山道、界隈)【2件】、清涼寺【2件】、松原町の田園【2件】
旧城下町地域・南部	芹川けやきみち(芹川)【13件】、彦根城(お堀)【7件】、琵琶湖畔【2件】、彦根市金龜公園【2件】、花しょうぶ通り【2件】、外馬場公園【2件】
新市街地地域	芹川けやきみち(芹川)【17件】、彦根城(お堀)【14件】、庄堀公園【6件】、琵琶湖畔【4件】、夢京橋キャッスルロード【4件】、ベルロード【4件】、犬上川【4件】
彦根駅東地域	芹川けやきみち(芹川)【6件】、彦根城(お堀)【4件】、琵琶湖畔【3件】、夢京橋キャッスルロード【2件】、松原浜(松原水泳場)【2件】
南彦根駅東地域	彦根城(お堀)【5件】、芹川けやきみち(芹川)【4件】、庄堀公園【4件】、中山道高宮宿【3件】、荒神山山頂(周辺)【2件】、夢京橋キャッスルロード【2件】
河瀬地域	荒神山山頂(周辺)【8件】、彦根城(お堀)【7件】、琵琶湖畔【3件】、彦根市荒神山公園【3件】、中山道高宮宿【2件】、宇曽川【2件】
稲枝地域	彦根城(お堀)【6件】、琵琶湖畔【5件】、荒神山山頂(周辺)【4件】、宇曽川【2件】、愛知川【2件】

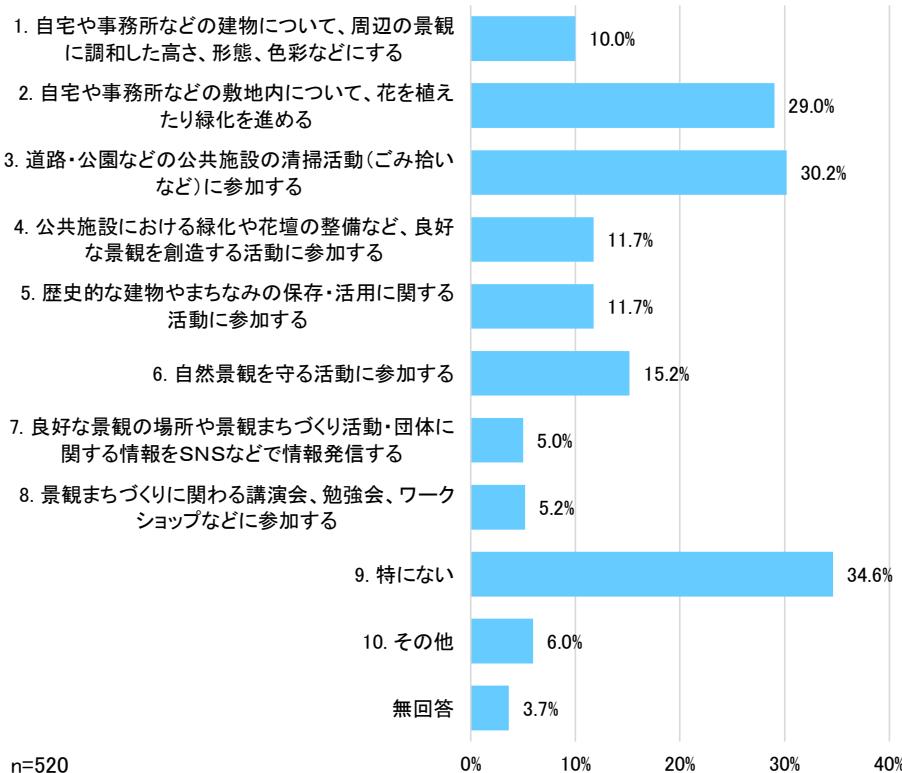
(3)景観まちづくり活動について

①景観のために実施している、してみたい取組み 〈問12〉

問12 良好的な景観を形成するため、あなたが現在実施している取組み、または、今後実施してみたい取組みはありますか。(複数回答)

・「特ない」が最も多く、景観まちづくり活動に対する市民の意向はあまり高くないことがうかがえます。

- ・景観のために実施している、してみたい取組みは、「特ない(34.6%)」が最も多く、次いで「道路・公園などの公共施設の清掃活動(ごみ拾いなど)に参加する(30.2%)」、「自宅や事務所などの敷地内について、花を植えたり緑化を進める(29.0%)」となっています。
- ・その他の意見では、「高齢・病気のため活動できない」といった活動に参加できない理由や、「ゴミの分別、ポイ捨てをしない」、「除草、草刈りをする」などの具体的な活動内容についての意見が挙げられています。



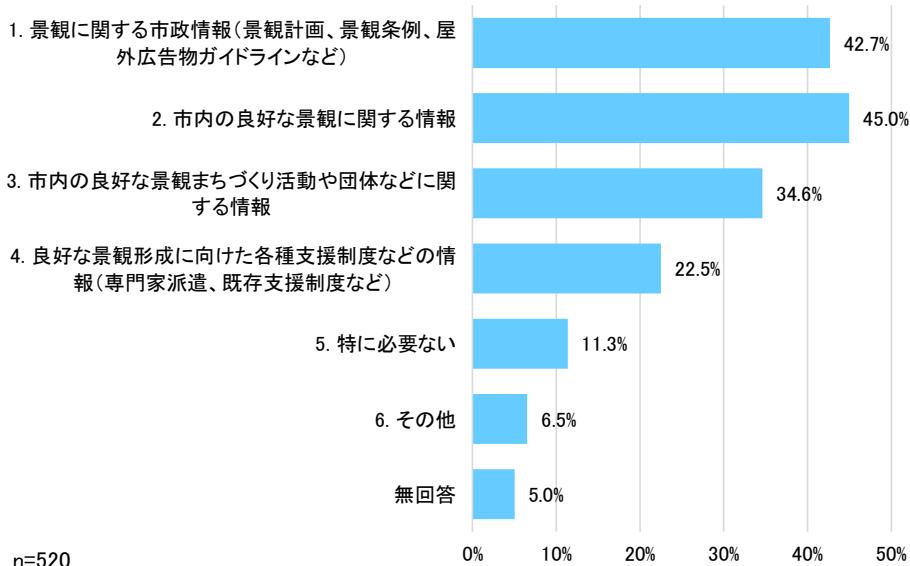
n=520

②景観形成を進めるための有効な情報 〈問13〉

問13 市民参加の取組みをしやすくし、良好な景観形成を一層進めていくためには、どのような情報の提供が有効と考えますか。(複数回答)

- ・「市内の良好な景観に関する情報」「景観に関する市政情報」など景観に関する情報発信が景観形成を進めるために有効であると考えています。

- ・景観形成を進めるための有効な情報は、「市内の良好な景観に関する情報(45.0%)」が最も多く、次いで「景観に関する市政情報(景観計画、景観条例、屋外広告物ガイドラインなど)(42.7%)」、「市内の良好な景観まちづくり活動や団体などに関する情報(34.6%)」となっています。
- ・その他の意見では、「行政が先導してほしい」、「わかりやすい情報を発信してほしい」などの意見が挙げられています。



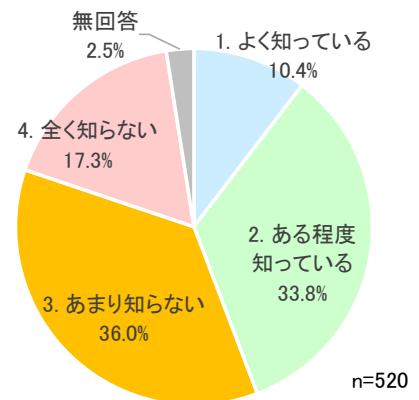
(4)彦根城および周辺地域の景観について

①彦根城の世界遺産登録の範囲についての認知度 〈問14〉

問14 あなたは、彦根市が世界遺産登録を目指している彦根城の範囲を知っていましたか。(1つ選択)

- ・知らないと回答した方は過半数を占めており、世界遺産の範囲に対する認知度は高いとは言えない結果となっています。

- ・彦根城の世界遺産登録の範囲についての認知度は、「あまり知らない(36.0%)」が最も多く、次いで「ある程度知っている(33.8%)」、「全く知らない(17.3%)」となっています。
- ・「よく知っている(10.4%)」と「ある程度知っている(33.8%)」を合計すると 44.2%、「あまり知らない(36.0%)」と「全く知らない(17.3%)」を合計すると 53.3%で、「知らない」方が半数を超えていいます。

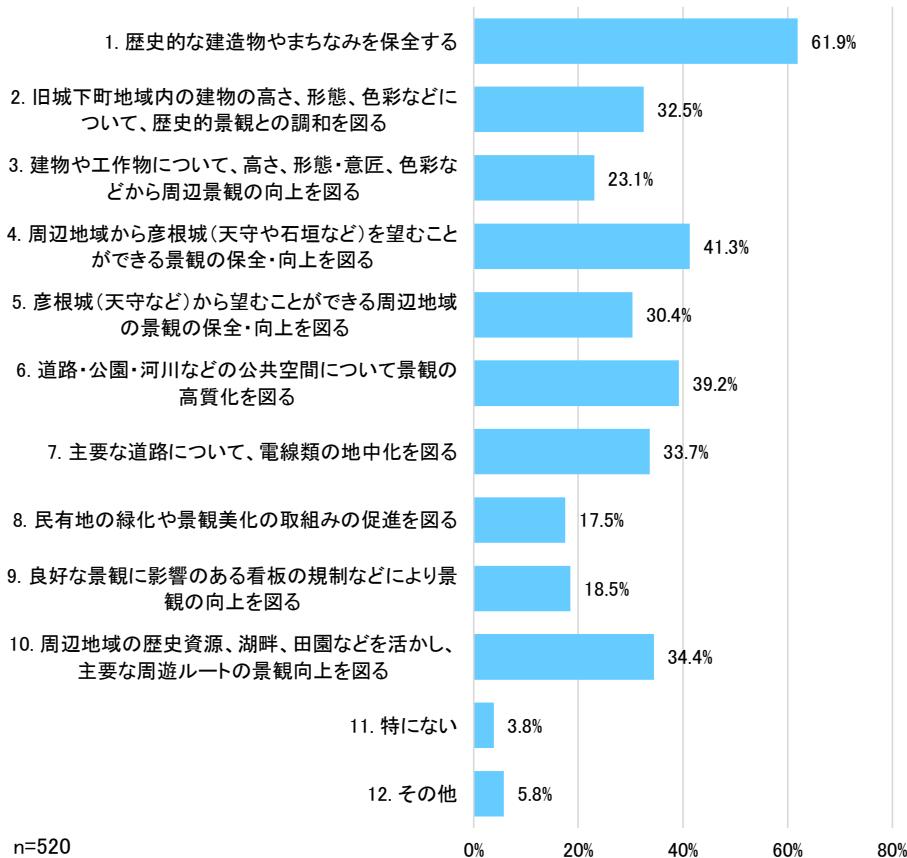


②彦根城周辺地域で進めるべき取組み 〈問15〉

問15 彦根城および周辺地域(前頁右下図を参照)で重点的に進めるべき取組みはどれだとお考えですか。(5つまで選択)

- ・「歴史的な建造物やまちなみを保全する」が最も多く、彦根城だけでなく、城下町などのまちなみの保全も求められています。

- ・彦根城周辺地域で進めるべき取組みは、「歴史的な建造物やまちなみを保全する(61.9%)」が最も多く、次いで「周辺地域から彦根城(天守や石垣など)を望むことができる景観の保全・向上を図る(41.3%)」、「道路・公園・河川などの公共空間について景観の高質化を図る(39.2%)」となっています。
- ・その他の意見では、「彦根城周辺整備」、「ごみや雑草の除去」などの具体的な取組内容についての意見が挙げられています。



③彦根城を望める良好な景観場所 〈問16〉

問16 彦根城の周辺地域内で、彦根城(天守や石垣など)を望むことができ、良好な景観を楽しめる場所はどこですか。(前頁右下図を参考に、ご記入ください。自由回答)

・良好な景観を楽しめる場所は、「お堀」、「池洲橋」、「彦根旧港(船町交差点)」が20件以上となっています。

- ・彦根城を望める良好な景観場所として、資産範囲ではお堀が25件で最も多く、次いで、キャッスルホテル前が16件、玄宮園が13件となっています。
- ・緩衝地帯では、池洲橋が22件、彦根旧港(船町交差点)が20件、松原町が15件となっています。
- ・その他の市内では、佐和山城跡が11件、ベルロード(巡礼街道)が10件、国道8号(佐和山トンネル付近)が6件となっています。



彦根城を望める良好な景観場所（主なもの）

3. 市民意識調査票

彦根市の景観に関する市民意識調査

● アンケートへのご協力のお願い ●

日頃より彦根市政に対し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、平成 19 年に「城と湖と緑のまち・美しい彦根の創造」を景観形成のテーマとし、地域にふさわしい良好な景観の形成に関する指針となる『彦根市景観計画』(概要は次頁参照) を策定し、景観まちづくりに取り組んでいます。

良好な景観を形成することは、地域の魅力向上につながり、人々の愛着やふるさとの意識を育むとともに、観光交流や地域経済の活性化等の面で効果が期待されることから、市民の皆さんとともに良好な景観を守り、育て、創造していくことが大切と考えています。

本市の景観計画は、策定から 15 年が経過し、景観面に関わる社会環境の変化等も見られることから、本年度より改定に向けた検討を進めています。

そこで、市民の皆さんに本市の景観に関して、日頃から感じておられることをお伺いし、景観計画の改定に際しての基礎資料として活用させていただくため、アンケートを行うこととしました。

なお、このアンケートの対象者は、住民基本台帳により市内にお住まいの 18 歳以上の皆さんから、無作為に選ばせていただきました 2,000 人の方に調査用紙をお配りしています。

ご多用のところ、お手数をお掛けしますが、本市の良好な景観まちづくりを進めていくため、アンケートにご協力いただきますようお願いします。

令和 4 年 10 月



彦根市

ご記入にあたってのお願い

- このアンケートの回答は、封筒の宛名のご本人様がお答えください。調査票へのご記入にあたっては、ご家族の方などが代筆していただいても構いません。
- ご回答は、質問ごとにあてはまる番号の□欄に✓をつけてください。また、「その他」にあてはまる場合は、その内容を（ ）内に具体的にご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らず、令和 4 年 11 月 14 日（月）までに郵便ポストにご投函ください。
- 右の二次元コード・URLから、パソコン・スマートフォンで回答することもできます。その場合は、調査票右上の ID ナンバーを入力してご回答ください。なお、パソコン・スマートフォンから回答する場合、調査票および返信用封筒の返送は不要です。

<https://questant.jp/q/Hikonekeikan>
- 本アンケートは、無記名方式のため、個人が特定されることはありません。また、お答えいただいた内容は、統計的に処理しますので、率直なご意見をくださるようお願いいたします。
- このアンケートに対するお問い合わせ先は、下記までお願いします。

彦根市 歴史まちづくり部 景観まちなみ課

電話：0749-30-6148（ダイヤルイン） FAX：0749-24-8517
E-mail：keikan@ma.city.hikone.shiga.jp

◆現在の「彦根市景観計画」の概要

(詳細は、左下二次元コード・URL またはパソコンから彦根市景観計画ホームページをご覧ください。)

彦根市景観計画は、景観法に基づき、市の全域（琵琶湖を除く）を景観計画区域に位置づけ、新たな建築物等の高さ、形態、色彩、素材、緑化などについて、良好な景観形成のための方針やルールを定めたものです。

方針やルールは、区域内の景観面の特徴を活かし、5つの景観形成地域と3つのゾーンごとに設定しています。（下図参照）



【彦根市景観計画ホームページ】



[https://www.city.hikone.lg.jp/
kakuka/rekishi_machizukuri/
keikan/4/1/index.html](https://www.city.hikone.lg.jp/kakuka/rekishi_machizukuri/keikan/4/1/index.html)

景観計画区域

- 琵琶湖・内湖景観形成地域
- 朝鮮人街道・巡礼街道沿道景観形成地域
- 国道306号沿道景観形成地域
- 芹川河川景観形成地域
- 城下町景観ゾーン
- 山なみ景観ゾーン
- 市街地景観ゾーン
- 田園集落景観ゾーン

<景観計画の地域区分図>

IDナンバー：99999

調査票

※以下の質問で、あてはまる回答の口欄に✓してください。
(回答は、令和4年10月1日時点の状況でお答えください)

1. あなたご自身のことについてお伺いします

問1 あなたの性別をお答えください。(1つ選択)

1. 男性 2. 女性 3. その他・答えたくない

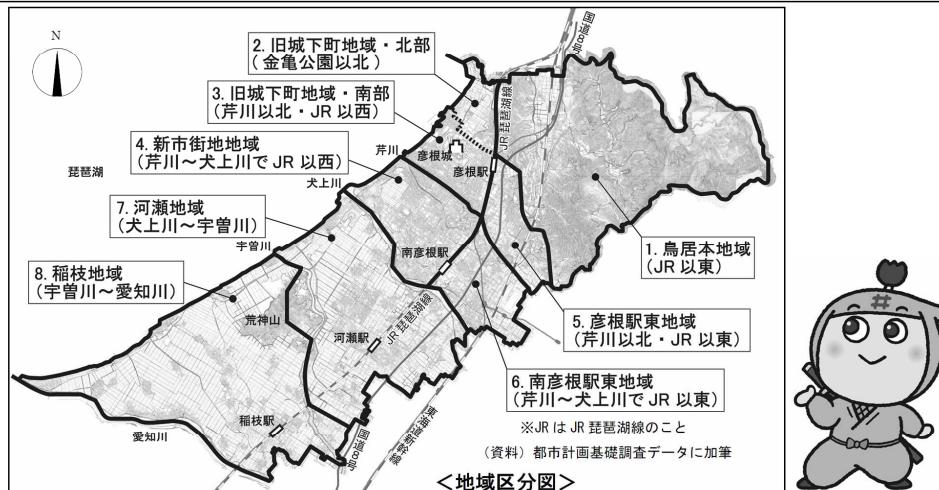
問2 あなたの年齢をお答えください。(1つ選択)

1. 10代・20代 2. 30代 3. 40代
4. 50代 5. 60代 6. 70代以上

問3 あなたのお住まいについて、以下の地域からあてはまるところをお答えください。(1つ選択)

※地域は、まちづくりの基本的な方針である『彦根市都市計画マスタープラン』の地域区分をもとにしています。

1. 鳥居本地域 2. 旧城下町地域・北部 3. 旧城下町地域・南部
4. 新市街地地域 5. 彦根駅東地域 6. 南彦根駅東地域
7. 河瀬地域 8. 稲枝地域
9. わからない(町名をご記入ください) ()



問4 あなたは、どれくらい彦根市に住んでおられるかお答えください。(1つ選択)

1. 5年未満 2. 5年以上～10年未満
3. 10年以上～20年未満 4. 20年以上～30年未満 5. 30年以上

問5 あなたは、景観に関心がありますか。(1つ選択)

1. 関心がある 2. 少し関心がある
3. あまり関心がない 4. 関心がない

問6 あなたは、彦根市が景観計画を策定していることを知っていますか。(1つ選択)

1. 知っており、内容もある程度わかっている 2. 知っているが、内容はよくわからない
3. 知らない 4. その他 ()

2. 彦根市内やお住いの地域の景観についてお伺いします

問7 あなたは彦根市「全体」の景観について、どのように感じますか。（1つ選択）

問8 彦根市の景観は、以前（10年前）と比べてどのように変化したと思いますか。（1つ選択）

1. 非常に良くなった 2. 良くなった
3. 変わらない 4. 少し悪くなった
5. 悪くなった 6. わからない

問9 あなたにとって彦根市内の大切にしたい景観とは何ですか。(複数回答)

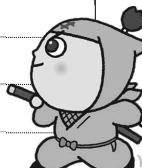
- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> □1. 城下町の歴史的なまちなみ | <input type="checkbox"/> □2. 彦根城が見えるまち |
| <input type="checkbox"/> □3. 宿場や街道の歴史的なまちなみ | <input type="checkbox"/> □4. 琵琶湖岸の風景 |
| <input type="checkbox"/> □5. 河川の風景 | <input type="checkbox"/> □6. 山なみの風景 |
| <input type="checkbox"/> □7. 荒神山の風景 | <input type="checkbox"/> □8. 田園の風景 |
| <input type="checkbox"/> □9. 公園や緑地 | <input type="checkbox"/> □10. 商業地のにぎわい |
| <input type="checkbox"/> □11. 閑静な住環境 | <input type="checkbox"/> □12. 特にない |
| <input type="checkbox"/> □13. その他（具体的に： | |

問 10 あなたが住んでおられる地域の景観について、景観上好ましくないと感じるものはありますか。(複数回答)

- 1. 周囲のまちなみと調和していない建物（高さ、形態、色彩など）
□2. 良好的な景観に影響のある高い建物
□3. 管理されていない空き家や空き地 □4. 手入れが行き届かず荒れた山林や農地
□5. ゴミのポイ捨て、不法投棄 □6. 雜然とした資材置き場や野ざらしの集積物
□7. 派手な色使いや大きな看板などの屋外広告物
※屋外広告物とは、屋外に掲出される看板、貼り紙、電光表示板、広告塔などのことです
□8. 電線、電柱、鉄塔類 □9. 太陽光発電施設
□10. まちなかの緑の少なさ □11. 特にない
□12. その他（具体的に：)

問11 彦根市内やお住いの地域で、将来に残すべき良好な景観があれば、名称や場所、特徴や理由をご記入ください。(自由回答)

【例】建築物、樹木、道路・公園・河川などの公共施設、景観を楽しめる場所など



3. 景観まちづくり活動についてお伺いします

彦根市の魅力を形成している景観は市民の共通の資産であり、市民のみなさんとの協働により保全・育成・創造し、次世代に引き継いでいくことが重要と考えています。

問 12 良好的な景観を形成するため、あなたが現在実施している取組み、または、今後実施してみたい取組みはありますか。(複数回答)

- 1. 自宅や事務所などの建物について、周辺の景観に調和した高さ、形態、色彩などにする
- 2. 自宅や事務所などの敷地内について、花を植えたり緑化を進める
- 3. 道路・公園などの公共施設の清掃活動（ごみ拾いなど）に参加する
- 4. 公共施設における緑化や花壇の整備など、良好な景観を創造する活動に参加する
- 5. 歴史的な建物やまちなみの保存・活用に関する活動に参加する
- 6. 自然景観を守る活動に参加する
- 7. 良好的な景観の場所や景観まちづくり活動・団体に関する情報をSNSなどで情報発信する
- 8. 景観まちづくりに関わる講演会、勉強会、ワークショップなどに参加する
- 9. 特にない
- 10. その他（具体的に：）

問 13 市民参加の取組みをしやすくし、良好な景観形成を一層進めていくためには、どのような情報の提供が有効と考えますか。(複数回答)

- 1. 景観に関する市政情報（景観計画、景観条例、屋外広告物ガイドラインなど）
- 2. 市内の良好な景観に関する情報
- 3. 市内の良好な景観まちづくり活動や団体などに関する情報
- 4. 良好的な景観形成に向けた各種支援制度などの情報（専門家派遣、既存支援制度など）
- 5. 特に必要ない
- 6. その他（具体的に：）

4. 彦根城および周辺地域の景観についてお伺いします

彦根市では、滋賀県とともに彦根城の世界遺産登録に向けた取組みを進めています。

問 14 あなたは、彦根市が世界遺産登録を目指している彦根城の範囲を知っていましたか。(1つ選択)

彦根城の世界遺産範囲（資産範囲）
彦根城の中堀から内側に、埋木舎を含めた部分を予定しています。

※世界遺産に登録する資産の周辺地域（緩衝地帯）は、資産の効果的な保護を目的に設定するものです。

- 1. よく知っている
- 2. ある程度知っている
- 3. あまり知らない
- 4. 全く知らない



(資料) 都市計画基礎調査データに加筆
＜資産および緩衝地帯の位置図＞

問 15 彦根城および周辺地域（前頁右下図を参照）で重点的に進めるべき取組みはどれだとお考えですか。（5つまで選択）

- 1. 歴史的な建造物やまちなみを保全する
 - 2. 旧城下町地域内の建物の高さ、形態、色彩などについて、歴史的景観との調和を図る
※旧城下町地域は、「景観計画の概要」の城下町景観形成地域のことです
 - 3. 建物や工作物について、高さ、形態・意匠、色彩などから周辺景観の向上を図る
 - 4. 周辺地域から彦根城（天守や石垣など）を望むことができる景観の保全・向上を図る
 - 5. 彦根城（天守など）から望むことができる周辺地域の景観の保全・向上を図る
 - 6. 道路・公園・河川などの公共空間について景観の高質化を図る
 - 7. 主要な道路について、電線類の地中化を図る
 - 8. 民有地の緑化や景観美化の取組みの促進を図る
 - 9. 良好的な景観に影響のある看板の規制などにより景観の向上を図る
 - 10. 周辺地域の歴史資源、湖畔、田園などを活かし、主要な周遊ルートの景観向上を図る
 - 11. 特にない
 - 12. その他 具体的に：

問16 彦根城の周辺地域内で、彦根城（天守や石垣など）を望むことができ、良好な景観を楽しめる場所はどこですか。（前頁右下図を参考に、ご記入ください。自由回答）

【例】〇〇交差点から望む天守など

5. 最後にお伺いします

問 17 彦根市内の良好な景観の形成に向けて、意見やアイデアなどがありましたらご記入ください。(自由回答)



ご協力いただきありがとうございました。
4